

ほし み 星を見よう!

2020年4月号

No.256

2020年4月15日発行

しろいしぶんか
白井市文化センター・プラネタリウム
〒270-1422 白井市復1148-8
TEL 047-492-1125 Fax 047-492-8016
e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp
URL: http://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/

プラネタリウム休館のお知らせ

「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大が懸念されるため、5月中旬まで休館します。
ご理解・ご協力をお願いします。再開時期についてはホームページ等をご覧ください。

4月上旬 21:00ごろ
4月中旬 20:30ごろ
4月下旬 20:00ごろ
5月上旬 19:30ごろ

星座の名前わかるかな?

①~⑭は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。「星を見よう!」4月号の中に星座名のヒントと答えがあります。



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

惑星 4月の位置

水星：太陽に近く見づらい
金星：宵 西天 おうし座 -4.4等→-4.5等
火星：未明 南東天 いて座→やぎ座 0.8等→0.4等
木星：未明 南東天 いて座 -2.1等→-2.3等
土星：未明 南東天 やぎ座 0.5等→0.4等

こういう時こそ 空を、星を見よう! (2)

5月半ばまで、夕方から宵にかけて西空に輝く金星が楽しめます。4月26日から27日にかけて、三日月・四日月が金星の近くを通り、28日は最大光度-4.5等。満ち欠けをする星、金星は、欠けつつ、見かけの大きさも大きくなっていきます。右図参照。



4/15 4/30
同じ倍率で見た金星

図：ステラナビゲーターVer.11/編アストロアーツ/編アスキー

天文講演会 6月28日(日)15:00~ 共催JAXA 宇宙科学研究所

はやぶさ2 トークライブシーズン2 in 白井 はやぶさ2 最前線 (要申し込み)

「はやぶさ2」を支えるメンバーである小松先生(総研大)と千秋先生(千葉工大)をお迎えし、帰還前のホットな話題を語っていただきます。

詳しくは「プラネタリウムだより4月号 No.311」または、ホームページをご覧ください。

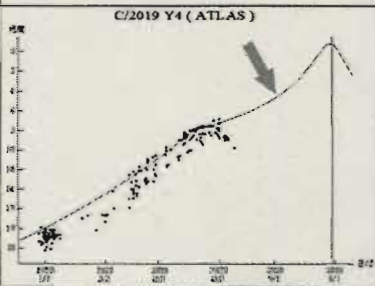
「緊急事態宣言」が発表になりましたので、窓口での受付は、5月中旬からになりました。メール、往復はがきでの申し込みは4/15~ 変更ありません。

アトラス彗星、核崩壊か?!

2019年末、発見されたアトラス彗星(C/2019 Y4)は、肉眼彗星になるかも、と期待されていましたが、核が崩壊した模様です。残念…。彗星を観測する人にとっては充分明るい彗星です。4/10現在 約7等級

「アトラスATLAS」とは、人物の名前でなく、Asteroid Terrestrial-impact Last Alert System のことで、訳すと、「小惑星地球衝突最終警報システム」のこと。とても怖い名前ですが、地球46億年の歴史の中、小天体の衝突を何回も受けてきました。それを、回避しようとNASAの支援を受け、ハワイ大学天文学研究所が開発・運用し、現在は2台のロボット望遠鏡が使用されています。

地球に近づく小惑星の探査が目的ですが、ATLASは移動する天体を識別することができるため、衝突可能性のない彗星も探査す

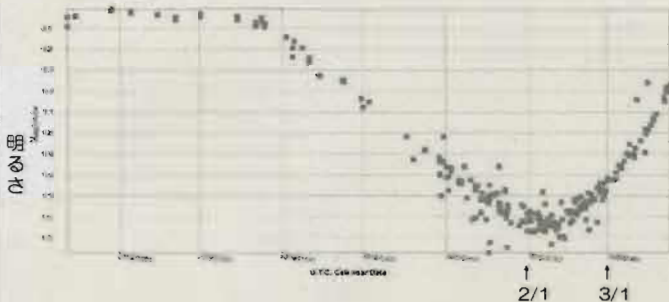


ることができ、このシステムによって発見された彗星を総称して「アトラス彗星」と呼びます。

左図 吉田誠一さんのHPから
矢印は予想された光度曲線

明るさが戻りつつあるベテルギウス

アメリカ変光星観測者協会(AAVSO)が観測したグラフです。着実に増光し、元の明るさに戻っています。実際の空で確かめましょう。



グラフ：ベテルギウスの明るさの変化 AAVSO

今年、地球と一番近い満月

4月8日 11:35、日本では、まだ、満月が昇っていない時刻の月が今年一番地球に近かった満月でした。一番遠い満月は10月31日 23:49です。地球と月との距離は、刻一刻と変化し、平均で約38万km

右の写真は一番近い満月の半分(左側)と一番遠い満月の半分(右側)を合わせた図です。約5万kmの差があります。

近い：約357,000km

遠い：約406,000km

因みに一番近い「半月」は6月28日です。



写真：平野 岳史

野口さん3回目のISSはクルードラゴンに搭乗決定

野口宇宙飛行士は、スペースX社が開発したクルードラゴン宇宙船の運用初号機に搭乗してISSへ向かいます。

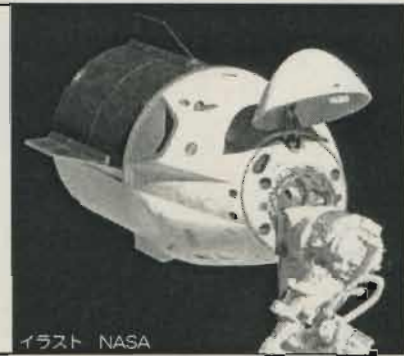


イラスト NASA

今月の見どころの重星連星天体

双眼鏡で見えるものもあります

カストル(ふたご座 α 星)多重連星系(六重連星系)

1.9等のカストルAと2.8等のカストルB。また、それぞれがふたつの星からなる連星。さらにふたつの連星をまわるカストルCも連星。5.0等と6.1等、 ϵ 2は5.1等と5.4等の連星系。

かに座イオタ(かに座 ι 星)

黄色の4.0等星と青色がかった6.6等星の二重星。

ミザール(おおぐま座)

肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

アルギエバ(しし座 γ 星)

オレンジ色2.6等星と黄色の3.8等星の二重星。連星系。

しろいメール配信サービスに登録しましょう

◎文化センターイベント情報 ◎コンサート情報

◎イベント講座情報 イベントの前にメールが届きます。



—キエロ(株)/ふ—アロヤア(株)/0120-8-4274555 図番

①おせせせせ ②いんていん ③おせせせ ④おせせせ ⑤おせせせ ⑥おせせせ ⑦おせせせ ⑧おせせせ ⑨おせせせ ⑩おせせせ ⑪おせせせ ⑫おせせせ ⑬おせせせ ⑭おせせせ ⑮おせせせ ⑯おせせせ ⑰おせせせ ⑱おせせせ ⑲おせせせ ⑳おせせせ